

新型コロナウイルスを不活化する天然化合物

教授・松田修
 特任准教授・扇谷えり子
 講師・新屋政春 からのメッセージ



新型コロナウイルスの感染を抑制する化合物の探索等を行っています。

キーワード

COVID-19、SARS-CoV-2、カテキン

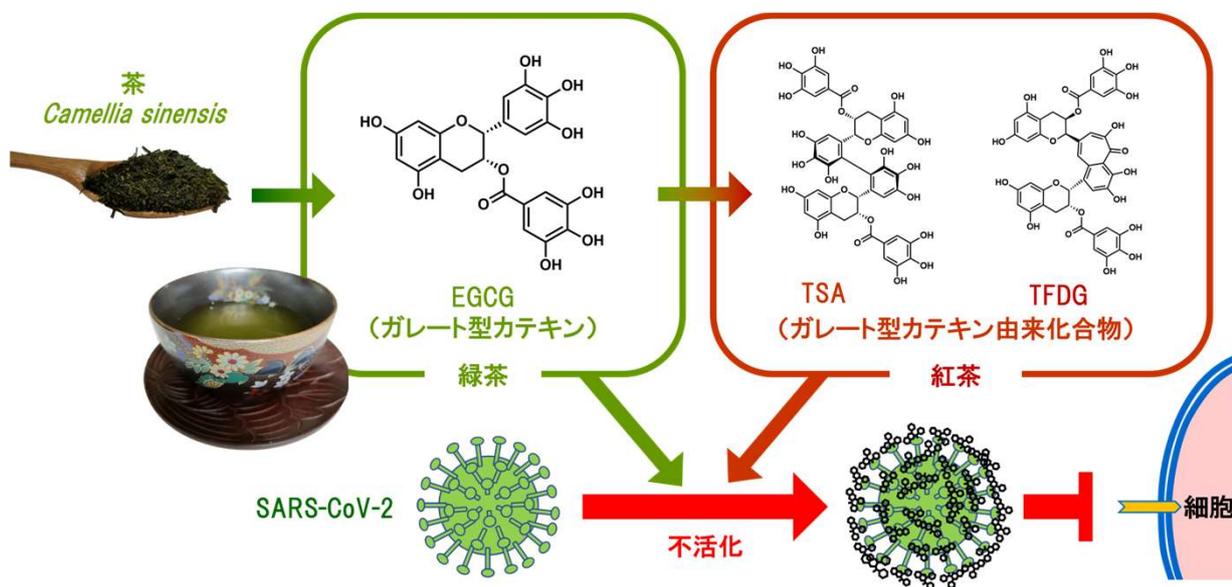
研究の概要

SARS-CoV-2は感染者の唾液を介して飛沫感染や接触感染で伝播します。そこでSARS-CoV-2を不活化できる食品由来成分を探索した結果、茶(*Camellia sinensis*葉抽出液)が迅速かつ強力にSARS-CoV-2を不活化することを見出しました。

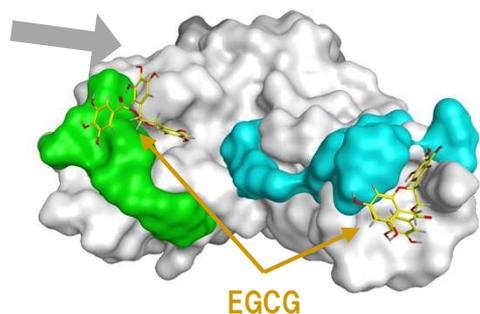
研究内容

緑茶に高濃度に含まれるEGCG(Epigallocatechin gallate)やGCG(Gallocatechin gallate)、またこれらから誘導され紅茶等に含まれるTSA(Theasinensin A)やTFDG(Theaflavin digallate)がSARS-CoV-2を不活化する活性成分であった(株式会社伊藤園との共同研究)。

※分子免疫ウイルス感染防御学 (共同研究講座)



Receptor binding domain of the Omicron BA.1 S-Protein



Receptor binding domain of the Omicron XBB.1 S-Protein

